



附属小のマスコット・キャラクターが決まりました！平和で一人一人が輝く学校という願いが込められています！

令和5年度 附属小学校だより

スマイル³ふぞく



第3号 令和5年7月3日(月) 校長 古野 祐一

附属の地域貢献「夏研」開催！

昨年度11月の「秋研」に続き、授業づくり研修会「夏研」を、6月30日(金)の午後に、長崎県下の先生方及び教職を目指す大学生を対象に開催しました。

本校の使命・役割の一つに、「県下の学校・先生方への貢献」があります。今回はこの「地域貢献」を目的に実施しました。総勢102名の参加をいただき、活況の中に終えることができましたことを嬉しく思います。以下に掲載していますが、県下に発出した研修会の案内チラシです。



複式学級の授業を参観される先生方。



2年生の国語科の授業を参観される先生方。



6年生のワークショップの様子。



1年生のワークショップの様子。

長崎附属小「夏研」
～さあ、授業を見に行こう～
明日から使える
授業・学級づくり
2次案内
「もう終わり？」「もっとしたい！」
子どもたちのことをどう考えていますか？
令和5年6月30日(金)
13:00 開会 参加無料
13:00～ 受付
13:00～ 公開授業1
14:00～ 公開授業2
15:00～ 各学年ワークショップ1
15:55～ 各学年ワークショップ2
終了予定
見たい学年を選び、学び合う研修会です。

公開授業について

公開授業1	13:00～13:45	公開授業2	14:00～14:45
1年 算数	「お金のつくりかた」	2年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
2年 算数	「お金のつくりかた」	3年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
3年 算数	「お金のつくりかた」	4年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
4年 算数	「お金のつくりかた」	5年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
5年 算数	「お金のつくりかた」	6年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
6年 算数	「お金のつくりかた」	7年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
7年 算数	「お金のつくりかた」	8年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
8年 算数	「お金のつくりかた」	9年 国語	「おとぎ話のつくりかた」
9年 算数	「お金のつくりかた」	10年 国語	「おとぎ話のつくりかた」

ワークショップ 15:00～15:45
ワークショップ 15:55～16:40

申し込みについて
①参加費は無料です。②申し込みは、Google Formsにて、各学年担当教員へお申し込みください。③申し込みは、令和5年6月23日(水)までです。④申し込みは、令和5年6月23日(水)までです。⑤申し込みは、令和5年6月23日(水)までです。

県下の先生方と一緒に、自分の授業づくりや学級経営について様々に議論し高め合う今回のような機会を、今後も提供できる附属小でありたいと思います。附属教員の指導はもとより、子どもたちの発言や課題解決に向かう学びの姿が、参観の先生方の明日へ役立つことを願っています。

【参観者の声】

- ・明日から使いたいと思う実践を見せていただき、自分の授業づくりを見直していこうと思っています。ワークショップでは、授業での疑問点や普段の悩みを解決していただき、こちらも実践してみたいと思いました。(教職3年目の先生)
- ・現職の方と直接話すことの出来る時間が、自分にとってとても有意義でした。大学生の悩みにも真剣に向き合ってください。ありがとうございました。(教育学部4年生)

今週は「力試し」が始まっています。1学期前期を締めくくる2週間が充実したものになるよう努めてまいります。

※裏面に続きます！

北斗の感動

梅雨の時期、遊びで発散できないストレス、新しい生活から2か月が経っての慣れや不調和から、子どもの心が乱れがちな6月が過ぎました。そんな時期だからこそ、あえて子どものよさを見付けよう意識してこの1か月間を過ごしてみました。

- ① 朝、乗車指導のためにバス停に立っていると、トングを片手に登校する4年生の男の子がいました。何をしているのと聞くと、「ゴミを拾いながら学校に来ています。」と、菓子箱やペットボトルを拾いながら登校しています。
- ② 具合が悪くなった1年生がいたら、お電話をいただき、至急駆けつけました。そこには、1年生と数人の6年生がいました。一緒に途中下車し、寄り添ったりバス代の予備から水を買って飲ませてあげたりする6年生もいました。
- ③ 雨の中休み、一人で玄関の掃き掃除をする3年生の男の子がいました。中休みなのに何で掃除をしているのと聞いてみると「よごれている」と一言だけ答え、砂を掃き続けていました。

子どもの善行

子どものこのような善い行いには、彼らを動かす理由があるはずで。

①の4年生、始めたきっかけは、下校途中、友達と一緒に会話を楽しみながらだそうです。続けているうちに、あまりの多さと、種類が気になり、調査をしているそうです。興味から実際に行動に移し、学びを広げる。まさに北斗の子。

②の6年生、パートナー遊びをはじめ、1年生のことを大切にしています。これは、自分たちもしてもらった記憶や、先輩の姿を見てきた伝統があります。6年学習が学校内だけでなく、学校外で発揮できる本物の力になっている証です。

③の3年生は、昨年度岩崎教諭の学級でした。岩崎教諭は、雨の日の朝、学級の子どもたちと一緒に、6年生の朝掃除に倣って掃除をしていました。この取組が子どもの心に今も継承されています。特別活動の学びの根幹である「社会参画」を低学年から体现しているのです。

子どもの善行から、日々の積み重ねの大切さを再認識した6月でした。 **教頭 橋田 晶拓**

未来で輝く北斗の子

やったことないことも、やってみよう！

WANIMA の人気楽曲の一つ“やってみよう！”。電話サービスブランド au の CM ソングとして耳慣れている方も多いのではないのでしょうか。この歌詞の一節に、「やったことないことも～」があります。

これまでにやったことのないことは、前代未聞であるがゆえに、やってみてはじめて上手いかないと分かることもたくさん見付かるものです。

先日、企画委員会(本年度発足)が企画した「全校かくれんぼ」が行われました。ノウハウの素は、学校行事や児童集会などの全校的な活動と、これまでに積み重ねてきた毎日の学級全員遊びの経験です。

実行に当たって、企画委員は、前もってルールの推敲や安全面への配慮を入念に行っていました。このように、新たなものを生み出したり新たなことを始めたりするとき、初めは失敗しないように注力します。しかし、より大事なことは、上手いかなかったことに対する修正力や更新力ではないでしょうか。それらが、明るく豊かな未来を形づくっていくのです。企画委員会も、早速次の動きへとつなげているところです。

今後も、日々のあらゆる場面でやったことのないことにチャレンジする機会を積極的に設けていきます。そうすることで、この次は上手いようにしたり、さらに良いものにしてたりと、子どもたちの工夫をする力が高まっていくことを楽しみにしています。

主幹教諭 才木 崇史

教えから学びへ

目的と手段

算数科「データの活用」では、各学年、次のような内容を学習します。

第1学年	絵を使ったグラフや図を使った数の表現
第2学年	簡単な表や丸を使ったグラフ
第3学年	表や棒グラフ
第4学年	二次元表や折れ線グラフ
第5学年	円グラフや帯グラフ、平均
第6学年	代表値や度数分布表、ヒストグラム等

グラフに表したり、読み取ったりする技能等を身に付けることがねらいです。と、同時に、表やグラフを用いて身の周りの事象について考察することも重要なねらいとなります。つまり、学習内容が、身に付けるべき目的でもあり、問題解決のための手段でもあるということです。

そこで、暮らしや他教科等との関わりを基に、子どもと共に「畑に植える野菜を決めよう」「地域に落ちているゴミを調べて、ポイ捨て防止を発信しよう」「北斗の子の体力や読書量を分析しよう」等の課題を設定します。その課題解決の過程において、新たな表やグラフを学ぶ意義を見いだしながら、知識や技能を活用して、自分なりの結論を導き出していくのです。

算数科に限らず、あらゆる教科等で学びを課題解決の手段として「使う」ことで、子どもの必要感が連続する授業を目指しています。

教務主任 松尾 勇哉